

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・8月から始まったプレミアム付商品券のうち商店街のみで使える商品券の効果が長く続いており、ブランドバッグ、貴金属、化粧品等の売上が好調である。8月末に起きた中国発の金融不安が長期化しなかったことで、消費マインドは安定している。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・11月に入って、新車受注が伸び、登録も前年を上回っており、景気は良くなってきている。四国の販売店の数字も伸びてきており、今後の展開に期待している。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・来場者数は、2～3か月前と比べると順調に伸びている。予約数は前年並みとなっている。
		設計事務所（所 長）	販売量の動き	・来年度の見通しがおおむね立ち、取り切れない仕事もあった。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・11月は龍馬の生誕祭と全国龍馬サミット等があった、かなり観光客が入ってきている。また、三連休には、中心部の公園で、大きな「食」のイベントがあって入場者数、売上ともに上々のようだった。その波及効果が商店街に来ている。
		一般小売店〔文 具店〕（経営 者）	お客様の様子	・客の価格訴求が強いように思われる。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・少しでも安い価格を消費者は求めるので、小売店は厳しい。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・10～11月前半までは、売上、動員数とも計画を上回り好調に推移した。8月から前年を上回るトレンドが継続しており消費回復かと思われたが、一転11月中盤からは暖冬の影響で売上低調となった。11月末は冷え込んで衣料品を中心に回復傾向となっている。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・天候や気温に大きく左右されるが、来客数は前年と比べて変化はない。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・10月はおおむね良かったが、11月に入ると雨の日が多く気温が高めだったことから、前月より大分落ちた感じがする。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新車販売台数は変わらない。秋の商戦も例年ほど伸びず、昨年からの不振が続いている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・来店客数は激減し、営業活動でのお買い得提案にも反応無く、個人客の購買意欲は冷えきっている。一方、法人では11～12月の短期リース等で前年より大きく伸ばしている。
		観光型旅館（経 営者）	販売量の動き	・販売量があまり伸びない。それなりに客は入っているが、高いものは売れにくいのが現状だ。
		都市型ホテル （経営者）	単価の動き	・来客数は若干増えてきているものの、客単価が依然低下傾向にあるため、全体では変わらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・お遍路さんが中心の仕事で、売上に大きな変化はない。ただ街全体は活気がなく、これから忘年会が始まるが、今のところ夜の動きも悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前の8月と比べると売上高はあまり変わっていない。11月後半から忘年会等のシーズンになるが、今のところ動きはない。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・ほぼ現状維持の状態にあるが、客からの引き合いが前月より若干悪くなっている。
		通信会社（支店 長）	販売量の動き	・11月はボーナス商戦前で来客数、販売量とも低調な傾向にある。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・11月の売上は、前月比15%減、3か月前比5%増、前年比16%増となった。本場での一日平均売上では、前月比11%減、3か月前比9%減、前年比24%増で、いかに場外発売を含めた一日平均の売上を高めるかが問われている。
	美容室（経営 者）	お客様の様子	・特に変化を感じない。	
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	それ以外	・経済の先行きが上向く材料が見当たらない。消費税率10%への引き上げが想定外の悪材料となるのではないか。

		一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・繁華街の人出や来客数は少なかった。中心街に大型のコンビニが近距離で何店舗も出店して、同業他社の閉店が相次いだ。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・天候の条件もあるが、紳士服・婦人服の冬物の状況が大変厳しくなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温が高く、冬物が低迷している。一方、ディスカウント店の出店が相次ぎ、客を取り合う形になっており、全体として景気は良くない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・競合店の出店に関係なく来店客数が伸びない。単価のより安い商品を求めて買い回っている様子が見られる。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・今月は平年よりも暖かい日が続き、雨の日も多かったことから来客数、販売量共に不調である。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客数の減少が始まっている。競合店の出店が主因と考えるが、客の節約志向を強く感じる。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・大型商品が次々に発売されたが、来客数が思ったほど伸びない。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・商品の販売数量は増えているが、低価格帯商品ばかり選ばれ、高価格帯商品も大幅に値引かないと売れない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・気温の低下とともに重衣料がようやく動き出したが、11月を通してみれば、客数減少の影響が大きく出た。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・気温が高く、特に衣料品関係の動きが全く不振で、売上が非常に落ち込んでいる。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・パリでのテロ事件の影響でヨーロッパのみならずアメリカ方面への旅行のキャンセルや旅行を控えるお客様が増加している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年末商戦前の季節変動と、他事業者の攻勢で販売量が低下している。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来客数も問い合わせ数も少なくなった。
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上の落ち込みを外商売がカバーしているが、店頭の落ち込みが大きいいため、カバーしきれていない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・イベントの少ない11月ではあるが、ここ何年間では最低である。回復どころか、消費税増税後は悪化の一途をたどっている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・第1週までは対前年比プラスで推移していたが、2週目以降は気温の上昇により来客数・客単価ともに大幅に下落した。ジャケット・コートの動きが悪く、最終的には前年より10%以上のマイナスになっている。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品のピロータイプのウェットティッシュは横ばいだが、化粧品のフェイスマスクは供給が追いつかない状況で、売上、景気とも良くなっている。
		鉄鋼業（総務部長）	それ以外	・生産・販売量は良いが、受注量は減少傾向。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店での売上が全国的に良くない。これまでと同じで、観光客の多い都市部、観光地では良好であるが、地方の経済状況が良くないため、全体的には昨年並みの状況が続いている。
		木材木製品製造業	受注量や販売量の動き	・これまで受注金額が停滞していたステーキホルダーに動きが出てきており、12月から納材が増え始め2月ごろにピークを迎える見込み。これまで好調を維持してきた取引先からの受注量も来年2月ごろまでは横ばいの見込み。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内は引き続き堅調。海外は依然として地域間のバラつきがある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生エネルギーの立案・計画・施工をしているが、最近受注が下降気味だ。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに横ばいで景気は変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ようやく1件の公共工事を受注できたが、まだまだ昨年と比べて少な過ぎる。

	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業量、民間事業ともに前年より少ないが、ここ数か月間で、大きな変化はない。会社によって受注量に差が生じているものの、年度末にかけて売上を上げていく時期でもあり、全体的な景況感是不変。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・テロなどで雰囲気は悪く、最低賃金や労働人口の話などを聞くと長期的解決になっていないように思われる。	
	輸送業（支店長）	取引先の様子	・販売数量は例年どおりで、多くもなく少なくもない。年末から年始にかけても恐らくこの状況が続くだろう。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・大きな変化はない。	
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の財務資料から判断して業況にさほど変化が感じられない。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月のクライアントの決算、試算表等を分析したところ、前年とほとんど変わらない。景気に変動はない。	
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・販売量は数パーセント程度の微減となっている。なお、要因となる特段のトピックは無く、商品構成等の通常の範囲内の変動と判断している。
		輸送業（営業）	取引先の様子	・既存の輸送委託先が運転手や車両の不足、運賃値上げ要請を断った事を理由に輸送契約を解除された荷主からの引き合いが一段と増えている。既存の保有車両に余裕は無く、また大型車両の新規調達には1年前後の期間を要する状況から受託は極めて難しい。燃料油価格の変動は前年同時期に比べ安値で推移しているものの、採算性を好転させる域には達しておらず、物量に目立った増加も見られない事から、依然として景気の低迷を強く感じる。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	職業安定所	それ以外	・10月の月間有効求人倍率は1.24倍で、3か月前より0.09ポイント改善している。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・主に製造業において、今年度の採用予定数が充足出来ていない企業が多く見受けられる。その理由は、工業系の高校が減少してきたため、製造職の人員が確保出来ないことである。設備拡大も、人員が確保出来ないため予定通り進んでいない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数が堅調である。また、直接の問い合わせもみられる。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・以前は、正社員の人でも転職を機に派遣社員として働くケースもあったが、そういう人が減っている。正社員に支給される賞与等に期待できるためかもしれない。	
	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・周辺企業では、業績が横ばいもしくはやや上向きのところがほとんどだが、長期にわたり求人難が続いており、景気が良くなっているとは考えられない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・相変わらず求人広告は好調で人員募集の需要は多いのだが、それが販売に向けての販促費投下につながっていない。カーディーラーもメーカーからの販促費補助が減少したりで細って来ており、全体的に元気な業種がない。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は過去にない高ポイントが続いているが、募集条件での好転がみられない。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・先月に引き続いて、中国経済の景気後退に伴って、管内事業所から雇用調整助成金の計画届の提出があった。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・労働者派遣法施行などで採用担当者が雇用を控えている感がある。求職者数が減っており、派遣会社の登録が減少している。
	悪くなっている	-	-	-